



浄土真宗の宗祖である親鸞聖人より受け継がれてきた法統を、私は平成26年6月に継承し、第25代の浄土真宗本願寺派門主・本願寺住職に就任いたしました。このことを阿弥陀如来と親鸞聖人の前に奉告する伝灯奉告法要をおつとめするにあたり、本書を出版することになりました。（中略）

日常生活の中で、悩みや苦しみをかかえながら生きていかなければならない私たちにとって、時代は違っても親鸞聖人の生き方は、多くの人々を惹きつける魅力あるものと思います。親鸞聖人の生き方の根本にある阿弥陀如来の救いのはたらきをより多くの人々にお伝えし、みなさまがそのはたらきに出遇うことで、生かされているいのちを尊び、喜びの中で生きていかれることを願っています。

（本書あとがきより）



報恩講は、親鸞聖人のご命日にあたり、あらためて阿弥陀如来さまのお慈悲に照らされている我が身に気付き、お伝え下さった親鸞聖人にお礼させて頂く、大切な法要です。本年は武土地区お同行の皆さまが、準備お接待を担って下さいました。改めて、お礼を申し上げます。来年のお接待当番地区は、井ノ邑地区でありますので、どうぞ宜しくお願いします。

写真は、法中五か寺（正福寺・明顕寺・教順寺・西福寺・善教寺）住職による内陣出勤の様子です。色衣のお衣が、より一層華やかに、そして厳かなる読経で、親鸞聖人もお喜びになられたことでしょう。

住職レター

今年も残り数日となりました。ようやく、各ご門徒さんの報恩講参りも、一段落した今日この頃です。

さて先日（十二月二日）、善教寺報恩講をお勤め致しました。